

確認できる					
-------	--	--	--	--	--

V. 血液製剤を実施される患者の管理が安全にできる

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている  
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人でできる

A. 血液製剤に関する基本的知識がある		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	輸血伝票と輸血用血液製剤(以下血液製剤)の確認の方法がわかる				90.5	63.9
2	血液製剤による使用期限の違いを知っている				87.1	42.8
3	血液の放射線照射の輸血後移植片宿主病予防の必要性を知っている				92.5	59.2
4	放射線照射血液は速やかに使用する理由を知っている				75.9	40.0
5	血液製剤による保存方法の違いを知っている				89.8	54.4
6	新鮮凍結血漿の解凍法と、速やかな使用の必要性を知っている				83.6	50.0
7	血液製剤投与による副作用を知っている				93.1	62.8
B. 血液製剤投与の準備と実施ができる						
1	輸血製剤受け渡し・準備・実施時に血液本体と伝票をダブルチェックする事が出来る				91.2	73.5
2	輸血の準備は危険防止のために一患者ごとに行うことを知っている				97.3	83.7
3	血液製剤の種類によって輸血のルートを選択できる				82.2	47.3
4	血液バッグに輸血フィルターまたは輸血セットを接続できる				86.4	65.3
5	血液型の確認、血液型バンド装着の確認、伝票の確認ができる				93.2	76.2
C. 血液製剤投与時の安全な観察・管理ができる						
1	輸血開始5分間はゆっくり滴下する理由を知っている				93.9	78.2
2	異常の早期発見のため、輸血開始後15分間患者の側で観察する必要性を知っている				93.8	75.3
3	輸血中15分から20分ごとの観察を実施できる				85.0	71.2
4	輸血中の注意事項について患者に説明できる				83.3	63.2
5	患者に異常が起こった場合、速やかに輸血を中止し医師に報告する必要性があることを知っている					81.5

VI. 複数の患者の注射・輸液・輸血の管理が同時にできる

1	注射薬を準備する時、複数でなく患者ひとりずつ注射薬を作ることができる					96.6
2	薬剤を準備する時、一人の患者に一つのトレイを使用できる					95.2
3	始業時に予定された注射・輸液・輸血療法の準備・実施のタイムスケジュールを立てることができる					87.1
4	一つの行為を開始するときは、手指の洗浄・消毒を行う					98.0
5	患者とコミュニケーションをとりながら、注射・輸液・輸血の実施ができる					87.6
6	患者ラウンドのとき、点滴ルートを手繰ってどこに挿入されているか確認できる					95.2
7	患者ラウンドのとき、輸液ルート類がからまないように整理できる					95.2
8	患者ラウンドのとき、現在実施されている輸液・血液製剤について指示注射ワークシートを用いて確認ができる					95.2
9	患者の体位や移動に気を配りながら、輸液速度の調節や接続の確認ができる					89.8
10	わからないことは、理解できるまで実施しない					91.8
11	優先順位の判断ができないときには先輩ナースに相談できる					92.5

H19年度1年後に「3」の割合  
(左隣は「3+2」の割合)